

♥ L'humanite'
ゆまにて

公益社団法人静岡県理学療法士会NEWS



「原点回帰」

公益社団法人 静岡県理学療法士会
会長 小林 敦郎

発行

公益社団法人 静岡県理学療法士会
会長 小林 敦郎
事務局長 瀧 和人
事務所 〒422-8067 静岡県静岡市駿河区
南町10番5号 地建南町ビル1階
TEL:054-266-5674 FAX:054-266-5675

編集

広報局ゆまにて編集部
部長 糸田 幸祐
所在地 〒420-0061 静岡県静岡市葵区新富町5丁目7-6
泰平会 城西クリニック

会員数:3,642名 630施設
東部:1,222名 中部:1,085名 西部:1,334名 その他:1名
勤務先会員:3,448名 自宅会員:194名



原点 回帰



公益社団法人 静岡県理学療法士会
会長 **小林 敦郎**

この度、6月の定時総会で第14代目の県士会長に就任いたしました。静岡県理学療法士会は1969年に設立されてから56年目となり、現在3600人ほどの会員で構成されております。これまで多くの諸先輩方が、半世紀以上に渡り本会発展のためにご尽力なされてきたことに敬意を払うとともに、今後は社会のニーズに合わせながら、地域に貢献できる職能団体としてさらなる発展を遂げて行きたいと思っております。会員の皆さまのご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

さて皆さま、近年は急速な情報化時代であり、様々な価値観を共有する多様性社会になってきております。時代の変化とともに、我々が日常的に接する理学療法対象者は、多様な障害あるいは重複した障害を抱え、より複雑化してきていると感じます。また理学療法介入においても、新たな治療介入の理論や技術が提唱され、エビデンスも構築されてきております。以前の知識・技術が現在では通用しないこともあり、日々それは変化してきているかと思われます。

そんな時代だからこそ、ぜひ皆さま一度振り返ってみてください。「あなたは何故、理学療法士になろうと思いましたか？」様々な答えがあるかもしれませんが、多くは患者さんを良くしたい、患者さんに寄り添って元気にしてあげたい、ということではないでしょうか。そのためにはどうしたらいいのか、自分なりに試行錯誤して進んできたかと思われます。現代社会の中でその方法は多種多様になってきており、多くの知識・技術を習得できる環境にはなっています。しかし情報が膨大になっているからこそ、その取捨選択を間違いないように進んでいただけたらと思います。患者さんを元気にしたい。医療人である以上その気持ちを忘れずに持ち続けることが大切であり、医療は日進月歩、立ち止まることはありません。

静岡県理学療法士会としても、これまで築き上げてきた過去を再確認しつつ、その経験を活かして現代の社会・その地域の需要に合わせて、どう未来へ発展させていくかが重要だと思っております。そのためには皆様のご協力なくして本会の発展はありません。ぜひとも、会員の皆様の積極的な活動に期待しております。

令和6年度



公益社団法人
静岡県理学療法士会
Shizuoka Physical Therapy Association

永年勤続賞受賞

静岡県理学療法士会永年勤続賞は、当法人在籍通算30年以上になる会員に贈られる、栄誉ある賞です。

令和6年度は、2名が受賞されました。



ユニケア岡部
訪問リハビリテーション
鈴木 弘乃 氏



静岡富沢病院
中川 一美 氏

おめでとうございます

特集

公益社団法人 静岡県理学療法士会
令和6年度 永年勤続賞

令和6年度

公益社団法人
静岡県理学療法士会
Shizuoka Physical Therapy Association

功労賞受賞

静岡県理学療法士会「功労賞」は、長年にわたり当法人の活動に多大なる貢献をされた会員に贈られる、栄誉ある賞です。

令和7年6月22日(日)の第17回定時総会前の和やかな雰囲気の中、表彰式が執り行われ、3名が受賞されました。



共立蒲原総合病院

和泉 謙二 氏

うんどう発達Laboすくすく
Body coordination ポボラ

山内 一之 氏



清泉クリニック整形外科

沖住 省吾 氏



おめでとうございます

公益社団法人

日本理学療法士協会

協会賞受賞

- 令和6年度 -

協会賞は、日本理学療法士協会・都道府県理学療法士会の活動で、長年に渡り指導的役割を果たし、その職務において格段の功績があった会員に贈られる、栄誉ある賞です。

静岡県理学療法士会より1名が受賞されました。

第54回定時総会

公益社団法人日本理学療法士協会



第54回

日本理学療法士協会
定時総会での表彰式の様子



富士宮市役所

川村 浩二 氏

おめでとうございます



第17回

静岡県理学療法士会
定時総会前の表彰式の様子

特集

公益社団法人 日本理学療法士協会
令和6年度 協会賞

日本理学療法士協会 永年会員 感謝状

日本理学療法士協会の会員として、
50年以上にわたり後進の育成に尽力され、
他の模範となる方に感謝状が贈呈されました。

令和7年度,静岡県理学療法士会からは
1名が受賞されました



石井 俊夫 氏
おめでとうございます

第28回静岡県理学療法学術大会

最終報

理学療法の

温故知新

開催日：2025年6月22日（日）

会場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

大会長：俵 祐一（聖隷クリストファー大学）

副大会長：春藤 健支（聖隷三方原病院）

準備委員長：松下 太一（北斗わかば病院）

学会参加への御礼

本大会にご参加いただき、誠にありがとうございました。予想を超える多くの皆様にご協力を賜り、盛会のうちに大会を開催できましたことを、心より御礼申し上げます。

本大会で得られた、過去からの学びや次世代との交流が、皆様の日々の臨床・研究活動に役立ち、さらなる理学療法の発展につなが～ることを願っております。

優秀演題が決定しました

【優秀演題】

主題-02

仮想現実 (virtual reality:VR) 技術と理学療法の併用は、疼痛感作と感情認知、身体活動を改善する

おまえざき痛みのクリニック、聖隷クリストファー大学大学院 佐久間 俊輔

主題-03

リハビリテーション科セラピストの業務効率化に向けたタイムスタディ

遠州病院 山下 浩史

O-08

Lumbar Locked Rotationの検者内・検者間信頼性の検討

甲賀病院 三宅 秀俊

O-19

化学療法誘発性末梢神経障害（CIPN）に対する運動療法の有用性と展望

～当院における取り組みの紹介および症例報告～ 聖隷浜松病院 四十宮 公平

【フレッシュマンズ優秀演題】

FO-13

静注強心薬投与中の心不全に対して、低強度の運動療法を実施したことで総合的な下肢機能の改善を認めた症例

聖隷浜松病院 石原 慶一

どの演題も大変素晴らしく、審査会は混沌を極めました。今回は、中でも特に学会テーマに沿った内容や今後につながる発表と評価された、上記5演題が選ばれました。受賞者の皆様、誠におめでとうございます。

特集

公益社団法人 静岡県理学療法士会
第28回静岡県理学療法学術大会

第29回

in 沼津

静岡県理学療法学術大会

2026年6月14日（日）1日開催

会場：ふじのくに千本松フォーラム プラサヴェルデ

〒410-0801 静岡県沼津市大手町1-1-4

大会テーマ



大会長挨拶



千葉 淳弘

JA静岡厚生連 中伊豆温泉病院

この度、第29回静岡県理学療法学術大会の大会長を務めます、中伊豆温泉病院の千葉淳弘と申します。ご挨拶申し上げます。

新型コロナ以降、近隣の施設だけでなく、同じ施設の職員の中でも理学療法士同士がゆっくり話す機会が少なくなっていると感じています。

そのような背景もあり、今回の学術大会のテーマは「つながる」としました。

本大会は、理学療法士における演題発表を中心とした大会ですが、普段顔を会わせる機会が少ない県内の会員が、対面にて近況報告や相談や雑談など「つながる」ことができる場であると私は感じております。

「つながる」は他にも様々な意味を持ちます。

- ・理学療法士、患者、健常者、学生など立場の違う人と人が「つながる」
- ・病院、介護施設、学校など働く場所や活動する場所で「つながる」
- ・教育、研究、臨床と「つながる」
- ・過去、現在、未来が「つながる」

本大会がそのような結びつきを強くする機会になればと思い、様々な企画を準備しております。

県内の多くの会員や県民が、沼津にお越しいただけるのを楽しみにしております。



募集期間のお知らせ

演題登録/座長・査読者

2025年10月1日～10月31日



沢山のご応募



お待ちしております！！



詳細は学会HP、SNSをチェック



特集

公益社団法人 静岡県理学療法士会
第29回静岡県理学療法学会大会

副大会長



赤岩 龍士

専門学校富士リハビリテーション大学校

学術大会 準備委員の紹介

TEAM



TSU-NA-GA-RU

準備委員長



岩寄 宣人

中伊豆リハビリテーションセンター

局長

副局長

事務局



下田 健一郎
静岡東都医療専門学校



青木 里実
静岡東都医療専門学校



熊谷 隆治
おおしろ整形外科クリニック

企画局



清水 美晴
中伊豆温泉病院



菅沼 顕
中伊豆温泉病院



山崎 達彦
静岡東都医療専門学校

運営局



森 雄司
静岡医療センター



濱 貴之
静岡医療センター



大澤 翔士
富士病院

広報局



吉川 雄太郎
穴吹整形外科クリニック



下島 健斗
順天堂大学医学部附属静岡病院



鈴木 志織
長泉ケアセンター博寿園

財務局



繁田 圭一
伊豆医療福祉センター



八木 史文
NTT東日本伊豆病院



小川 和輝
静岡医療センター

厚生局



勝亦 志帆
沼津市立病院



早川 直貴
富士中央病院



伊藤 英将
沼津市立病院

公開講座局



河原 一剛
順天堂大学医学部附属静岡病院



上原 晴加
共立蒲原総合病院



畠山 浩太郎
中伊豆リハビリテーションセンター

つながるをテーマにした特別企画も！
ぜひお気軽に会場へお越しください



令和7年度 高校生施設見学開催報告

社会局長 河野 隆志
広報啓発部長 長瀬 将人

令和7年8月4日(月)から16日(土)までの11日間、県内23施設で高校生施設見学を開催いたしました。本事業は、高校生が病院や施設等で理学療法士と交流を図り、見学を通して理学療法士の職業理解を深めてもらうことを目的としております。改めまして、本事業の開催にあたり多大なるご協力を賜りました各施設ならびに関係者の皆様にご心より感謝申し上げます。

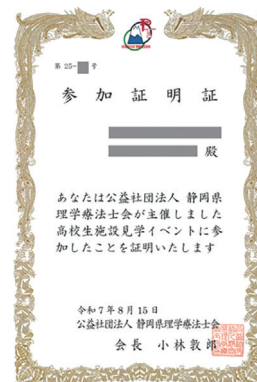
【参加者】 84名(当日の欠席者6名)

【受け入れ施設】 JA静岡厚生連 遠州病院、すずかけヘルスケアホスピタル、掛川東病院
十全記念病院、聖隷三方原病院、聖隷浜松病院、袋井市立聖隷袋井市民病院
天竜すずかけ病院、浜松市リハビリテーション病院、浜松医療センター
コミュニティホスピタル甲賀病院、聖隷リハビリテーション病院
静岡リハビリテーション病院、静岡県立総合病院、静岡済生会総合病院
伊東市民病院、穴吹整形外科クリニック、沼津リハビリテーション病院
聖隷沼津病院、長岡リハビリテーション病院、熱海所記念病院、富士病院

【その他】 参加者には参加証明証(右図)を発行

【アンケート結果】 ※ 一部抜粋

1. 本事業を通じて「理学療法士」について理解できましたか。
・とても理解できた(78.3%) ・理解できた(19.6%)
2. 将来、「理学療法士」を目指したい(なりたい)と考えていますか。
・はい(67.4%) ・わからない(32.6%)
3. 本事業の総合的満足度を教えてください。
・満足(87.0%) ・やや満足(10.8%) ・普通(2.2%)



4. 参加者からのコメント

- リハビリテーション室の雰囲気や患者さんと理学療法士さんがどのように関わっているのかを間近で見るなど、あまりできない経験をさせてもらい嬉しかったです。理学療法士になりたいという気持ちがより強くなりました。
- 今回このイベントに参加したことで、理学療法士の仕事をより詳しく知ることができました。担当してくれた理学療法士の方も、教え方や話し方がとても丁寧で良かったです。良い経験となりました。
- 施設の方々が優しく説明をしてくれて質問もしやすい雰囲気でもとても良かったです。
- 担当してくれた理学療法士の方がとーってもやさしくて、自分がもし患者さん側だとしてこんな人に助けてもらったらうれしいと感じました！

など

ご協力いただきありがとうございました。

理学療法の日「全国一斉イベント」

社会局長 河野 隆志
公開講座部長 大嶽 達也

令和7年7月13日(日)に焼津市で公開講座を開催しましたので報告いたします。

- 日 時:令和7年7月13日(日) 10:00 ~ 12:00
- 会 場:大井川地域交流センター 大会議室
- 来場者数:118名
- 講師①:浦田 真裕(コミュニティーホスピタル甲賀病院)
フレイルを予防しよう!～予防方法を理学療法士がお伝えします～(講演)
- 講師②:栗田 真自(株式会社リハライフサポート)
フレイル予防に関する運動実演

『フレイルを予防しよう!』をテーマに焼津市で公開講座を開催しました。当日は118名の来場者にご参加いただきました。来場者の満足度は非常に高く、盛況のうちに終えることができました。当日ご協力いただきました運営スタッフ(県士会員・志太榛原支部)の皆さま、広報活動など多大なるご協力をいただきました焼津市 地域包括ケア推進課、大井川地域包括支援センターの皆さまに深謝いたします。次回、11月2日(日)に富士宮市での開催を予定しています。引き続き、県民の皆さまの介護予防・健康増進に貢献できるよう努めて参りますので宜しくお願いいたします。

講演の様子



運動実演の様子



運動の様子



運営スタッフ



Proud NUMAZU CUP 2025

ミニム・ベンジャミンオープン アイ工務店カップ

活動報告

小宮山 正広1) 2) 米田 賢史2) 伊藤 翼2) 桐山 卓真2) 山下 浩史2)

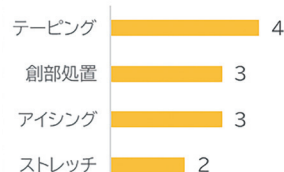
1) 順天堂大学医学部附属静岡病院 2) 予防局メディカルサポート部

1. 大会概要・活動内容

令和7年7月12日(土)から13日(日)の2日間、沼津市総合体育館にて一般社団法人沼津フェンシング協会主催の「Proud NUMAZU CUP 2025 ミニム・ベンジャミンオープン アイ工務店カップ」が開催されました。本大会では、U10、U12、U14、U17といったアンダーカテゴリーのジュニアアスリートが、フルーレ、エペ、サーブルの3種目で競い合いました。静岡県理学療法士会からは各日2名を会場内のブースに配置し、選手をサポート活動を実施しました。2日間を通して試合中の緊急対応は少なく、手指の裂傷や成長期に伴う症状を訴える選手が目立ちました。今回の活動を通して、フェンシングという競技の特性や若い世代特有の障害対応について、貴重な経験を得ることができました。

総処置件数: 12件

処置内容・件数



2. 活動に参加した感想

今回、初めてフェンシングのメディカルサポートに参加させていただきました。フェンシングを見ること自体が初めてで、間近で見る試合はスピード感と迫力があり驚きました。実際の対応では、感冒症状から、テーピング対応などがあり臨機応変な対応が求められました。普段の臨床にはない実際の現場での良い経験となりました。

(医療法人社団英志会 富士整形外科病院 米田賢史)

今回初めてメディカルサポート活動に参加させていただき、日々の臨床とはまた違った経験をすることができました。現場では迅速な対応を求められる中で上手くサポートをすることができたと思います。アンダーカテゴリーの大会ではありましたがとても迫力がありフェンシングの魅力を感じました。またこのような機会があれば、積極的に参加していきたいと思います。

(医療法人社団英志会 富士整形外科病院 桐山卓真)

フェスティバルの様子



【謝辞】

今回の事業に携わる貴重な機会を与えて頂きました一般社団法人 沼津フェンシング協会および大会運営関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。



パラベースボールフェスティバル in Shizuoka

大庭 弓子1)2) 青木 和舞2) 下田 健一郎2)

1)haguみしま 2)予防局メディカルサポート部

【大会概要】

中部東海身体障害者野球連盟 静岡支部主催の「パラベースボールフェスティバル in Shizuoka」が令和7年8月3日(日)、裾野市野球場および多目的広場にて開催されました。本事業は、パラベースボールとソフトボールの練習体験会と交流戦として、各競技間の相互理解とパラベースボール普及を目的に、約60名の選手等が参加しました。

【活動内容】

当日は気温が高く、炎天下での開催であったため、熱中症対策には特に気を配りました。練習体験会の前には理学療法士によるストレッチと準備運動の時間を設け、交流戦ではデッドボールを受けた選手に応急処置を行い、攻守交代時に氷嚢を配布するなど、細やかな対応を心がけました。

また、メディカルサポートブースにベッドを1台設置し、希望者からの身体の悩みやトレーニング方法について相談のある方には、個別性の高いトレーニング方法について実演を交えながら提案しました。参加者の方々とコミュニケーションを取りながら活動することで、理学療法士によるメディカルサポートを身近に感じてもらえたと思われました。今回の活動では、熱中症対策や試合中の応急処置、選手からの相談対応など、柔軟に対応することができました。これまでの県士会のメディカルサポート活動は身体障害者野球が主でしたが、ろう野球(聴覚障がい)やグランドソフトボール(視覚障がい)の選手やそのご家族、関係者の方々にも、静岡県理学療法士会のメディカルサポートについて知っていただく良い機会となりました。

【対応件数・内容】

身体障がい者選手 3件(熱中症、機能評価と運動方法の指導、デッドボールによる対応)

聴覚障がい者選手 1件(熱中症予防についての相談)

会場の様子



【謝辞】

最後に、今回の事業に携わる機会を与えていただきました中部東海身体障害者野球連盟の皆様、厚く御礼申し上げます。

産業理学療法部門

健康セミナー(中部電力パワーグリッド)

鳥居勇樹1)2) 木下拓也1) 小島健1) 小沢江平1)

1) 予防局健康増進部 2) 聖稜リハビリテーション病院

予防局健康増進部産業保健部門では、中部電力パワーグリッド清水営業所様からの依頼を受け、令和7年6月18日(木)に「企業向け健康セミナー」を実施しました。

セミナーは15名の従業員の皆様を対象とした事前アンケートの結果と同社の要望をもとに、「運動器具の使い方、肩こり・転倒予防」をテーマとして、肩こり・転倒関連の情報提供、就業時を含めた日常に落とし込みやすいストレッチやエクササイズを提案を行いました。

同社の運動スペースにある運動器具を使用して、運動器具の使用方法やその目的を細かく説明いたしました。実技の際には、「こんなに伸ばせるんだ」「このくらい伸ばせれば気持ちが良い」など、運動効果を実感できるようなお声を頂戴しました。事後アンケートでは「実技を通して教えてもら得たので分かりやすかった」「具体的な運動器具の使い方を知れた」と、満足度の高いセミナーとなりました。

令和5年度、厚生労働省は「第14次労働災害防止計画」において「理学療法士等を活用」がはじめて明記され、また、令和6年度厚生労働省はエイジフレンドリー補助金では「理学療法士等による体力チェックや運動指導」を導入する中小企業を対象とした新たな補助制度を新設されました。昨今、産業保健分野における理学療法士の活用ニーズの高まりを感じており、理学療法士が産業保健分野に関わることで、地域や社会に貢献できる可能性が広がって参りました。今後も理学療法士の専門知識を活かし、地域住民、県内企業への健康増進に努めて参ります。

会場の様子



健康増進部では、地元企業を対象とした健康セミナーの開催にご協力いただけるスタッフを募集しております。ご興味のある方・ご協力頂ける方は、下記①または②の方法でご連絡をいただけますと幸いです。

①「メールでご連絡」・・・kenkou@shizuoka-pt.com(産業理学療法部門 担当者)

②「右記QRコードよりご登録」・・・下記ご登録フォームよりお願いいたします。



国民スポーツ大会 第46回東海ブロック大会 フェンシング競技

活動報告

山下浩史1)2) 縄田琴美2) 小宮山正広2) 綾部 萌2)

1) JA静岡厚生連遠州病院 2) 予防局メディカルサポート部

【大会概要・活動内容】

2025年8月16日(土)、17日(日)に香陵アリーナ(沼津市立総合体育館)で開催された国民スポーツ大会 第46回東海ブロック大会フェンシング競技に、静岡県フェンシング協会からの要請を受け、静岡県理学療法士会から理学療法士2名が各日参加し、選手のサポートにあたりました。本大会には、静岡、愛知、岐阜、三重の各県から成年女子、少年男子・女子の代表選手が出場し、フルーレとエペの白熱した試合が展開されました。

私たちは会場内のブースに待機し、選手のコンディショニングや負傷時の応急処置に対応しました。2日間を通じて、対応件数は合計4件で重傷者も発生することなく、大会は無事に終了しました。

【処置件数・内容】

8月16日:2件(テーピング1件、創部処置1件)

8月17日:2件(テーピング1件、創部処置1件)

試合中の様子



参加スタッフ



処置対応の様子



処置対応の様子



【謝辞】

このような貴重な活動機会をご提供くださいました一般財団法人静岡県フェンシング協会の皆様に、心より御礼申し上げます。

サッカー部門活動報告

第27回 清水レディースカップサッカー大会

澤野公一(1)(2) 縄田琴美(2) 芦沢俊樹(2) 片平翔太(2) 片平美沙貴(2) 森山乃瑛(2) 山下浩史(2)

1) 静岡市立清水病院 2) 予防局メディカルサポート部

【大会概要・活動内容】

2025年7月12日、13日、19日から21日にかけて、一般財団法人 静岡県サッカー協会 中東部支部(NPO法人 清水サッカー協会)主催の「第27回清水レディースカップサッカー大会」が清水蛇塚スポーツグラウンドで開催されました。7月12日と13日はU-15、19日から21日はU-18カテゴリーの選手が出場し、それぞれの技術向上、他チームとの交流を深める目的として試合が行われました。

今年度は暑熱対策として試合時間は午前と午後の夕方以降の2部制となり、日本サッカー協会の指針に従って試合前やハーフタイムにWBGT(湿球黒球温度)の測定も行われました。

WBGT 28℃以上となった回数は昨年度よりも少なかったこともあり、U-15では熱中症が疑われる選手は見られませんでした。U-18カテゴリーでも、熱中症が疑われる選手に対してはスタッフ間で情報を共有しながら対応することができました。大会中に16件の対応を行い、重傷者は見られずに無事に活動を終えることができました。

今後もメディカルサポート活動を継続していくため、スタッフ育成に努める必要性があると感じております。メディカルサポートにご興味のある方のご参加をお待ちしております。

総処置件数:12件

処置内容・件数

過呼吸対応	4
アイシング	4
熱中症対応	3
ストレッチ	2
指導	1
評価	1
創部固定	1

試合中の様子



参加スタッフ



【謝辞】

貴重な機会を与えて下さいました、一般財団法人 静岡県サッカー協会 中東部支部、大会運営関係者、選手の皆様に感謝いたします。

***** メディカルサポート スタッフ登録のご案内 *****

メディカルサポート部の活動に興味がある方は、こちらの二次元バーコードから詳細をご確認のうえ、ご登録ください。また、スタッフ募集などの最新情報は、県士会のLINEやメルマガで配信しています。まだ登録がお済みでない方は、ぜひご登録ください。



高校野球部門

第107回全国高等学校野球選手権記念静岡大会

小田 心太郎1)2)

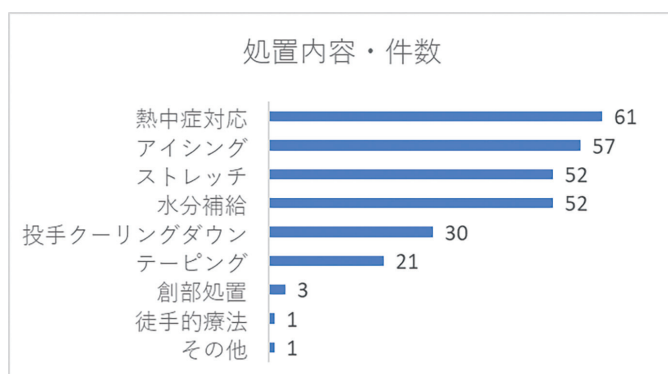
1)あかりクリニック 2)予防局メディカルサポート部

【大会概要・活動内容】

令和7年6月29日(日)～7月28日(月)に県内の各球場にて開催された「第107回全国高等学校野球選手権 静岡大会」に静岡県理学療法士会から延べ124名が派遣され、メディカルサポート活動を実施しました。本大会の1、2回戦は熱中症や緊急時の対応を活動の中心とし、3回戦以降は投手クーリングダウンを含む包括的なメディカルサポート活を行いました。事前に実施したワークショップの効果もあり、評価から処置、導線の確認まで円滑に進み、現場では余裕を持って冷静に対応することができました

【処置内容・件数】

総処置件数:278件



処置対応の様子



今大会のメディカルサポートでは、擦過傷や熱中症、救急搬送など幅広く対応し、迅速な処置によって選手の安全を守ることができました。天候に恵まれ、関係者の熱中症予防への意識も高かったため、例年より発生件数が少なかったことが印象的でした。今後は、障害予防を目的とした投手クーリングダウンを1回戦から実施できる体制を整え、多くのスタッフと経験を共有していきたいと考えています。

メディカルサポート活動は、経験豊富なスタッフから直接学び、他施設のスタッフと交流を通して日々の業務にも還元できる貴重な機会です。ご興味のある方は、一緒に活動してみませんか？

【謝辞】

最後に、本活動の機会を与えていただいた一般財団法人 静岡県高等学校野球連盟の皆様へ心より感謝申し上げます。

***** メディカルサポート スタッフ登録のご案内 *****

メディカルサポート部の活動に興味がある方は、こちらの二次元バーコードから詳細をご確認のうえ、ご登録ください。また、スタッフ募集などの最新情報は、県士会のLINEやメルマガで配信しています。まだ登録がお済みでない方は、ぜひご登録ください。



参加報告

1)医療法人社団清明会 静岡リハビリテーション病院 2)静岡県理学療法士会 災害対策委員会

第19回 JIMTEF災害医療研修アドバンスコース

参加報告

青野 恵介¹⁾²⁾

1) 藤枝市立総合病院 2) 静岡県理学療法士会 災害対策委員会

【はじめに】

公益社団法人 国際医療技術財団(JIMTEF)主催の第19回JIMTEF災害医療研修アドバンスコースを受講しましたので、以下に報告いたします。

【研修内容】

JIMTEFの災害医療研修コースは、大規模災害発生時の多様な状況に適切に対応するための技術・知識を習得する研修です。リハビリテーション職のみならず、薬剤師、管理栄養士、柔道整復師など幅広い職種が参加し、講義およびグループワーク形式で学びました。

演習1「発災から急性期の対応」

大規模災害直後の初動対応について、複数のグループに分かれてディスカッションを実施しました。どのような準備を行い、いかに被災地へ向かい、滞在場所を確保しつつ支援を開始するかなど、想定される状況を踏まえて意見交換を行いました。自身の安全確保の観点からも、十分に想定し適切に準備することの重要性を再認識しました。

演習2「避難所運営ゲーム(HUG)」

静岡県が開発した避難所運営ゲーム(HUG)を用い、発災当初から避難所を開設・運営する過程をグループでシミュレーションしました。次々に到着する避難者や多様なイベントへの対応に迫られ、発災初期の過酷な状況を具体的にイメージできました。実際に避難所を運営する立場ではないものの、当初の現場状況や課題を把握でき、有意義な演習となりました。

演習3「避難所・地域アセスメント」

他グループが設置した仮想の避難所について、ラピッドアセスメントシートを用いて評価しました。限られた時間と混乱した状況の中で必要情報を収集する難しさを学びました。避難所アセスメントはJRAT活動でも実施する可能性があり、今回の知見を今後の支援に活かしたいと考えます。

演習4「災害食の実践(デモンストレーション・試食)」

グループで協力し、実際の災害食を調理・試食しました。限られた物資の中で栄養バランスや分量を考慮して調理する難しさを実感し、ディスカッションを重ねながら実習を進めました。昼食時に調理した災害食を試食でき、貴重な経験となりました。

演習5「本部運営実習」

大規模災害発生後、災害医療コーディネータとして本部運営を担う想定でのグループワークを行いました。刻々と変化する状況下で、必要情報を収集・整理し、関係各所へ指示を発出する一連の流れを体験しました。ロジスティクスの重要性と難しさを認識するとともに、現場での判断力や俯瞰的視点の必要性を強く感じました。

【感想】

本研修を通じて、災害現場における医療体制の在り方や、大規模災害時に想定される多様な状況について多くの学びを得ました。数多くのグループワークを通じて、被災地での情報収集や多職種連携の重要性を体感し、平時とは異なる「限られた資源の中での最適解」を模索する難しさとも必要性を痛感しました。



また、全国から集まった多職種の受講者との議論を通じ、各地域における経験や課題を共有できたことは大きな刺激となりました。私は令和6年能登半島地震の際にJRATとして支援活動に参加しましたが、その経験を振り返りつつ本研修を受講したことで、より幅広い知見を得られたと感じています。

今後も大規模災害時の支援に関する学習・準備を継続するとともに、静岡において同様の災害が発生した場合の対応について、自施設のみならず地域全体で議論を進める必要性を改めて認識しました。今回の学びを実践に活かし、地域に貢献できるよう微力ながら尽力いたします。

この度、貴重な機会を与えてくださいました静岡県理学療法士会ならびにJIMTEF関係者各位に、厚く御礼申し上げます。

演習2「避難所運営ゲーム(HUG)」



演習4「災害食の実践(デモンストレーション・試食)」



神経理学療法専門部会

令和7年度 神経理学療法専門部会 第1回症例検討会

開催報告

山内信吾1) 金原牧恵1) 天野浩也1) 藤井星矢1)

1) 静岡県理学療法士会 神経理学療法専門部会

令和7年5月15日(木)に、オンライン(Zoom Meetings)で神経理学療法の分野における症例検討会を行いました。

症例検討①では、「右視床出血により、左重度片麻痺・感覚障害により自宅退院に向けて難渋した症例」、症例検討②では、「左被殻・視床出血により意識障害を呈した症例における評価と治療」というタイトルで、それぞれ症例紹介をしていただきました。症例発表後に質疑応答、グループディスカッションを行いました。症例検討①では、重度の麻痺と感覚障害、注意障害があるが、普通に歩きたいというhopeを持つ回復期患者に対しての評価・治療を検討し、自宅退院に向けてできる事などの意見を多く聞くことができました。症例検討②では、主に意識障害に焦点を当てて、評価や治療について意見を交換しました。多くの参加者から、意識レベルを改善する為に普段どのような工夫をしているか聞くことができました。ディスカッションは、様々な所属の参加者がそれぞれの見方で意見を述べ合うことができていて、視点が広がったのではないかと思います。発表者にとっても、ディスカッションを通して多くのフィードバックが得られたのではないかと思います。

今後も県内理学療法士のリハビリテーションの質の向上をサポートできるような場を設けていければと思っています。

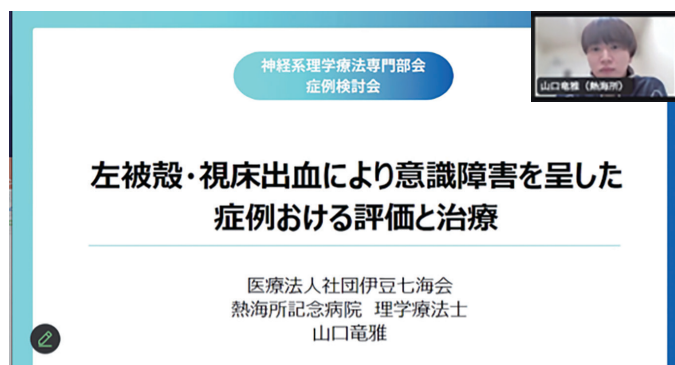
【参加者】

理学療法士会員: 29名(症例検討①)、28名(症例検討②)

症例検討】



症例検討① 浅沼 那月 先生
(沼津リハビリテーション病院)



症例検討② 山口 竜雅 先生
(熱海所記念病院)



静岡県理学療法士連盟

NEWS

Vol.9
2025.9.1

令和7年6月17日 理学療法士である【鈴木ひろゆき】浜松市議並びに関係各所の皆様のご尽力により、浜松市より【リハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）の処遇改善を求める意見書】を衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・内閣官房長官・厚生労働大臣・経済産業大臣に提出して頂きました。

詳細は下記、浜松市のHPのリンク並びに右記2次元コードからご確認ください。

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/gikai/r0705tei/iken sho.html>

連盟は、リハビリ職の処遇改善のために動き続けます。



令和7年7月20日 参議院議員通常選挙について

選挙の応援・ご協力本当にありがとうございました。得票は88432票で、田中まさし氏を国政へ送ることは出来ませんでした。連盟として大変申し訳ございませんでした。静岡県の得票は3679票でした。前回は3742票でしたので、全国の都道府県が2、3割落としている現状を踏まえると、静岡県は健闘した方かと考えています。皆様に大変感謝しております。

ただ、診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス含めて、国で報酬が決まっており政治活動は、続けなければなりません。リハビリ職が気持ちよく充実して働いていなければ、質の高い効果のあるリハビリは提供できません。最終的に不利益を得るのは利用者様や患者様になります。そのためにも、働きやすく・働き続けられる環境を整えていくために、政治的な活動を続け訴えていきます。

今年度も11月頃に厚生問題対策連絡協議会にて、静岡県政に処遇改善などの要望書を提出する予定です。

引き続き、静岡県理学療法士連盟へのご協力宜しくお願い致します。

静岡県理学療法士連盟 会長 渡邊勉



静岡県理学療法士連盟 新規入会及び会員継続登録のお願い

年会費 ¥1000とし、当会の運営を行うこととなりました

右記のQRコードもしくはURLから申込みフォームへの登録をお願いします。

- ・既会員：会員継続の意志確認、会員情報の再登録
- ・新規会員：新規入会登録



<https://forms.gle/CCF4vXYvHGDmEcrJ7>

富士リハで
理学療法士
作業療法士
を
目指そう!



学校法人森島学園

厚生労働大臣指定 文部科学省職業実践専門課程認定校

理学療法学科

作業療法学科

↓詳しくはこちら

専門学校 **富士リハビリテーション大学校**



〒417-0061 静岡県富士市伝法 2527-1 TEL.0545-55-3888 FAX.0545-55-3889 URL:<https://www.morishima.ac.jp/fuji/>

理学療法学科 トータルケア鍼灸学科 スポーツ柔整・柔整健康学科 歯科衛生学科



オープンキャンパス毎月開催中! 詳しくはホームページをご参照ください

専門学校 **中央医療健康大学校**

参加申込↓



静岡市駿河区曲金 6 丁目 7-15

☎ 054-202-8700

✉ cmhc@suzuki.ac.jp



学校法人 鈴木学園

鈴木学園

検索

鈴木学園グループ: 中央歯科衛生士調理製菓専門学校・中央調理製菓専門学校静岡校・専門学校中央メカニク自動車大学校・中央動物総合専門学校

未来へまっすぐ

一人ひとりの身体の悩みに寄り添い、支えるスペシャリストに

理学療法学科 柔道整復学科

- ・ワンルームタイプの学生寮（男女）
- ・学生食堂：日替わり定食・季節メニュー
- ・沼津駅・伊東駅・菰山駅からの送迎バス
- ・早期にスタート！本気の国家試験対策
- ・レッドコード、治療台などの設備が充実

学校法人 原学園



静岡東都医療専門学校

SHIZUOKA TOHTO MEDICAL COLLEGE

〒410-2221 静岡県伊豆の国市南江間 1949 番地

TEL 055-947-5311 FAX 055-947-5313



理学療法士募集

募集人員 常勤 若干名

スパインダイナミクス療法を基盤に、
学びながら即戦力へと成長できる
教育体制と、働き方を見直した“今”に合った職場環境

施設名	医療法人社団SEISEN 清泉クリニック整形外科
施設概要	整形外科クリニック（無床）
待遇	基本給225,500円～ 地域手当5,000円、資格手当15,000円 通勤手当別途支給 賞与年2回（2.5ヶ月/年）、昇給年1回 各種保険完備、退職金制度あり 経験者優遇、パート同時募集
休日	週休2日シフト制、日曜・祝日休診 年間休日115日（夏季休暇、年末年始、誕生日休暇あり）
勤務時間	8:30～17:30 時間外業務あり
応募方法	電話もしくは、当院ホームページよりご応募ください。
連絡先	〒411-0904 駿東郡清水町柿田191-1 清泉クリニック整形外科 静岡 Tel 055-981-1936 担当:新野(アラノ)

多職種がん専門
レジデント(理学療法士)募集

募集人員 1名程度

がんの進行やその治療の過程で生じたADL・QOLなどの障害に対して、
理学療法士の業務に必要な知識と基本的技術の習得を図り、
がん医療に精通した理学療法士を養成します。

施設名	静岡県立静岡がんセンター	応募資格 理学療法士免許取得者で2年以上の 臨床経験もしくは同等の技術が あることが望ましい
研修期間	2年間(2026年4月1日～2028年3月31日)	
身分	静岡県会計年度任用職員	
待遇等	ホームページをご覧ください	
応募方法	当センターホームページから必要書類をダウンロードし下記あて郵送	
応募締切	2025年11月11日(火) 必着	
選考日・方法	2025年11月25日(火) 書類審査・小論文及び面接試験	
合格発表	2025年12月中旬までに郵送にて通知	
連絡先	〒411-8777 駿東郡長泉町下長窪1007 静岡がんセンター総務課企画人材班 Tel 055-989-5743 Fax 055-989-5783	



理学療法士募集

募集人員 若干名

総合力で「人」を支える・・・県内トップクラスのリハクオリティを誇る訪看です！
訪問リハの経験不問。チーム担当制のため、各分野の専門知識を持った職員が的確な指導の下
みんなでスキルアップしていく会社です。ライフワークバランスを
重視した休日は思いっきりリフレッシュしてもらい、お子さんをお持ちの方々も
働きやすい職場を作っています。今年度ババ育休取得実績あり（連続3週間）

施設名	訪問看護ステーション椎路	交通 沼津市立病院より 徒歩10分
施設概要	PT6名・OT2名・ST1名 認定理学療法士(学校教育・地域)、 3学会呼吸療法認定士、心臓リハビリテーション指導士 PNFベーシック修了、住環境福祉コーディネーター、訪問精神看護研修修了	応募資格 卒後3年以上 が望ましい
待遇	(OT)給与275,000円～ ※弊社規定による	
勤務時間	8:30～17:30 休日 土日祝	地域 東部
勤務地	(事務所)沼津市東椎路708-1 (訪問先)沼津市内	
応募方法	電話またはメールよりご応募下さい。	
連絡先	先ずはお気軽にご相談下さい。(担当:金元) E-mail info@houkan-shiji.com Tel 055-955-7467 Fax 055-955-7502	



理学療法士募集

募集人員 常勤2名

2025年2月に新しくオープンするクリニックです。
外科的アプローチと内科的アプローチで運動療法、食事療法、薬物療法を行い、
多職種連携で患者様の健康をサポートします。

施設名	清水サルバス整形外科・糖尿病内分泌クリニック	交通 静鉄静岡清水線 桜橋駅より車4分
施設概要	無床 理学療法 物理療法	
待遇	基本給26万円～、通勤手当、資格手当、職務手当 賞与年2回、昇給年1回、各種保険完備、退職金制度あり	
勤務時間	8:30～18:00	
休日	週休2日制、年次有給、夏季休暇	
応募方法	履歴書を郵送してください	
連絡先	〒422-8004 静岡市駿河区国吉田4-5-27-201 Tel 054-265-1515 Fax 054-265-1551 採用担当 松永 E-mail saiyo-junbi@kind.ocn.ne.jp	



理学療法士募集

募集
人員常勤1名
非常勤1名

当院は運動器の理学療法に重きを置き、スタッフを多く配置して人の手による個々に合った治療に心がけております。産休、育休(男性も)も取りやすくまた自己研鑽を積みたい方は研修会参加などを奨励し定着率が高い職場です。

施設名	医療法人社団浜本整形外科医院	現在、医師2名、理学療法士8名、柔道整復師3名、看護師3名、放射線技師1名
施設概要	無床、整形外科クリニック、通所リハビリ、訪問リハビリ	
待遇	年収350万円から経験に応じて500万円 賞与年2回、昇給あり、退職金制度あり、研修参加補助 パート時給:平日1,700円～ 土曜日2,000円	交通 静鉄バス北安東 5丁目徒歩3分
休日	木曜午後、土曜午後、日祝日、夏季休暇、年末年始	
勤務時間	8:30～18:30(8時間後は時間以上残業手当)	
応募方法	まず電話していただき、履歴書を郵送してください。見学はいつでも結構です。	
連絡先	〒420-0805 静岡県葵区城北40-5 人事 浜本 百合子 054-248-1705 E-mail: yhama7552@mti.biglobe.ne.jp	

理学療法士募集

募集
人員

常勤1名

運動療法・徒手療法・足底板療法を主体としたリハビリを実施。対象は術後や高齢者から学生スポーツ障がいまで多岐にわたります。医師のリハビリに対する理解が深く、各々が掲げる医療を実践する場として、院外活動・副業も可能です。

施設名	財団法人 福祉医療推進事業団 あかりクリニック	交通 自動車通可
施設概要	整形外科クリニック	
待遇	基本給:月給280,000円～330,000円 賞与:なし 昇給:年1回 各種保険完備、退職金共済加入 通勤手当あり、住宅手当あり、その他特別手当あり 学会・講習会費用支給あり	
勤務時間	午前:8時15分～12時15分 午後:14時15分～18時15分	
休日	週休2日制(木・日) 祝日・お盆・年末年始休暇あり	地域 西部
応募方法	電話またはFAXにてご連絡ください。 ※随時見学も可能です。	
連絡先	〒436-0005 静岡県掛川市上西郷528-1 電話:0537-23-0277 FAX:0537-23-0288 採用担当 小田(こた) E-mail mezase.saikouno.at@gmail.com	

理学療法士募集

募集
人員

常勤 若干名

地域の三次救急を担う急性期病院です。研修会、各種資格取得や学会発表へ活動も活発です。幅広い疾患が経験できます。

施設名	浜松医療センター	
施設概要	606床	
待遇	基本給 206,400円～※経験年数による加算あり※諸手当あり(通勤手当、住宅手当、扶養手当その他) 賞与あり(令和5年度実績 月4.4ヶ月分)、昇給年1回、退職金制度あり	
休日	4週8休制(完全週休2日制に相当)、年末年始休暇、年次有給休暇(平年次20日)、夏季厚生休暇(8日)、特別休暇(産前産後、結婚、看護・介護休暇その他)、育児・介護休業制度	
勤務時間	8:15～17:00	
応募方法	「採用試験志願書・自己紹介書」を郵送してください。 詳しくは当院ホームページをご覧ください。https://www.hmedc.or.jp	
連絡先	〒432-8580 浜松市中央区富塚町328番地 公益財団法人浜松市医療公社 人事課 人事係 Tel: (053)451-2703 E-Mail: jinji@hmedc.or.jp	

求人広告に関するお問い合わせ

Eメールにてお問い合わせください

静岡県理学療法士会広報局 渡邊勉(わたなべ つとむ)
E-mail: tsutomu@shizuoka-pt.com
一般財団法人富士脳障害研究所附属病院

※ゆまにて212号の掲載原稿の
締め切りは2025年12月31日です。

